

平成30年5月13日

平成30年度第8回定時総会

#### 第4期活動報告（案）

1. 活動を円滑に行うに必要な収支の安定、拡大を検討する。
  - ・収益目的事業については取り組むことができなかった。また、寄付についても安定化とは程遠い状況にあるが、会員数は少数ながら増加した。
2. 学習指導要領改訂期にあることなどを考慮し、会員をはじめとして社会にとってより有益な情報の発信を強化する。
  - ・新たなホームページを立ち上げるとともに、ニュースの内容の充実を図った。また、「総会記念講演」及び「造形・美術教育フォーラム」では、新学習指導要領に対応した企画を実施した。
3. 「美術教育連絡協議会」の参加団体と共同し、図画工作科・美術科における学習の重要性を社会に向けて主張する。
  - ・美術教育連絡協議会で積極的に連合としての役割を果たし、平成27年度の要望書に続いて、平成28年度は提言書を文部科学省に提出した。
4. 美術教育関係諸団体との情報交換、協調、協力関係を強化する。
  - ・美術教育連絡協議会においては、協議会の確認に基づき、関係団体との協力関係を維持することとなった。
5. 日本美術教育研究発表会の拡充を進める。
  - ・平成28年度には第50回記念の発表会及び記念懇親会を開催し、発表会参加者は113名であった。また、「日本美術教育研究発表会50周年記念クロニクル」を含む『日本美術教育研究論集50号』を刊行した。平成29年度第51回発表会では、49件の発表が行われ、参加者は135名であった。
6. 造形・美術教育力養成講座の拡充を進める。
  - ・第3期造形・美術教育力養成講座「海外美術教育ワークショップー明日の授業が変わるー」を平成28、29年度に実施した。参加者のアンケートや直接的な意見では、夏の研修講座として定着してきている。
7. InSEAにおける日本の代表としての歴史を踏まえ、海外美術教育関係者及び団体との関係を強化する。
  - ・平成28年に実施された国際美術教育学会（InSEA）役員選挙では、本連合会員である佐藤真帆氏をアジア地区評議員として推薦し、選出された。平成29年8月のInSEA世界会議大邱大会2017では、前理事長及び元理事長が招待研究発表を行うとともに、大邱大会実行委員会とアジア地区大会について意見を交換した。

平成30年5月13日

平成30年度第8回定時総会

## 平成29年度事業運営報告（案）

## ■平成29年

- 4月23日（日） □第1回理事会・運営委員会 会場：聖心女子大学  
本理事会及び運営委員会の主たる議案は、「役員人事について」、  
「総会の運営について」であった。
- 第7回定時総会及び講演会 会場：聖心女子大学宮代ホール  
平成29年度第7回定時総会を、聖心女子大学宮代ホールにお  
いて開催し、議案はすべて承認された。
- 講演：「新学習指導要領とこれからの図画工作科，美術科」  
岡田京子文部科学省教科調査官  
東良雅人文部科学省教科調査官  
総会終了後、講演会「新学習指導要領とこれからの図画工作科，  
美術科」を、講師に岡田京子文部科学省教科調査官，東良雅人  
文部科学省教科調査官を招聘し、一般公開として開催した。参  
加者は70余名であった。
- 6月 □日本美術教育連合ニュースNo. 150  
総会審議結果及び記念講演会報告，「日本美術教育研究」，「造形・  
美術教育力養成講座」，「InSEA 大邱大会」の案内等を中心とす  
る連合ニュースNo. 150を発行した。
- 6月 1日（木） □内閣府からの指導  
内閣府公益認定等委員会事務局を大坪圭輔代表理事，西村德行  
理事，結城孝雄理事が訪問し，担当の松原利生政策企画調査官よ  
り平成27年度事業報告等の申請について指導を受けた。
- 6月 4日（日） □第2回理事会・運営委員会 会場：東京家政大学  
本理事会・運営委員会の主たる議案は，「造形・美術教育力養成講  
座」及び「日本美術教育研究発表会」の企画・運営と内閣府から  
の指導についてであった。
- 事業局主催「造形・美術教育力養成講座〈第4期〉」準備会  
水島尚喜理事を中心に開催し，日程や講師の調整を行った。
- 8月 7日（日） □InSEA世界会議2017大邱大会

- ～ 11日 (日) 詳細：公益目的事業2 国際事業報告 (別紙)
- 8月21日 (月) □造形・美術教育力養成講座〈第4期〉会場：聖心女子大学
- ～ 22日 (火) 詳細：公益目的事業3 啓発・普及事業報告 (別紙)
- 8月27日 (日) □第3回理事会・運営委員会及び論集編集委員会  
会場：東京家政大学  
本理事会・運営委員会の主たる議案は、「日本美術教育研究発表会」の企画・運営であり、論集編集委員会で論文審査等に関する詳細を検討した。
- 9月 □日本美術教育連合ニュースNo. 151  
「造形・美術教育力養成講座」報告、「日本美術教育研究発表会」の詳細記事を中心とする連合ニュースNo. 151を発行した。
- 10月15日 (日) □第51回 日本美術教育研究発表会 2017  
会場：東京家政大学  
詳細：公益目的事業1 研究促進事業報告 (別紙)
- 会計監査 (前期) 北澤俊之監事，宮坂元裕監事  
西村德行理事が立ち合い，北澤俊之，宮坂元裕両監事によって前期会計監査を実施した。
- 選挙管理委員会  
藤崎典子選挙管理委員会委員長を中心にして，選挙の進行，用紙等の確認，日程の調整などを行った。
- 11月19日 (日) □第4回理事会・運営委員会及び論集編集委員会  
会場：東京家政大学  
本理事会及び運営委員会の主たる議案は、「第51回日本美術教育研究発表会2017の報告」，「論文査読及び論集の編集について」，「第5期 (平成30，31年度) 理事選挙について」，「造形・美術教育フォーラムの企画について」などであった。尚，運営委員会終了後，論集編集委員会による論文査読準備作業，選挙管理委員会による理事選挙準備作業を実施した。
- 12月10日 (日) □第5回理事会・運営委員会及び論集編集委員会  
会場：東京家政大学  
本理事会及び運営委員会の主たる議案は，「論文査読及び論集の編集について」，「造形・美術教育フォーラム細案について」，「第4期の各局事業活動の総括と申し送り事項の検討」などであった。尚，運営委員会終了後，論集編集委員会が開催され，論文の査読を行った。
- 12月 □第5期役員選挙

郵送投票による役員選挙を実施した。12月1日に投票用紙を発送し、同月22日消印有効を締切とした。

■平成30年

1月7日(日)

□選挙管理委員会

藤崎典子選挙管理委員会委員長の下、開票及び集計作業を実施した。全体の集計結果は、有権者数222名、投票総数102票、無効投票数0票、有効投票数102票であり、獲得票数などについては、1月21日開催予定第6回理事会に報告することにした。

1月21日(日)

□第6回理事会・運営委員会及び論集編集委員会

本理事会及び運営委員会の主たる議案は、「役員候補者選挙結果について」、「内閣府指導及び会計方針について」、「役員の推薦及び依頼について」、「調査委員会の設置について」などであった。また、2月16日に臨時理事会を開催する旨了承された。尚、運営委員会終了後、論集編集委員会が開催され、論文の再査読を行った。

□造形・美術教育フォーラム

会場：東洋大学

三澤一実運営委員の司会によって、大櫃重剛東京学芸大学附属世田谷小学校教諭、飯田成子朝霞市立朝霞第五中学校教諭を招聘し、「新教育課程－実践授業のあり方を問う」と題するフォーラムを一般公開として開催した。フロアからの活発な質問や意見もあり、新学習指導要領の趣旨を生かした実践の在り方について熱心な討議が為された。参加者は60余名であった。

2月16日(金)

□調査委員会 会場：日本美術教育連合本郷事務所

西村德行理事、水島尚喜理事、結城孝雄理事による調査委員会を開催し、調査の報告が大坪圭輔代表理事にあり、今後の方針を検討した。

□臨時理事会 会場：日本美術教育連合本郷事務所

本臨時理事会の主たる議案は、「役員の推薦及び依頼について」、「局員に関する細則案について」、「研究局運営委員会局員の嘱任について」「監事からの提言及び定款改定案について」などであった。

2月27日(火)

□内閣府立入検査 会場：日本美術教育連合本郷事務所

内閣府公益認定等委員会事務局 大臣官房公益法人行政担当室 松原利生、三宅泰明政策企画調査官が日本美術連合本郷事務所を訪問され、定例の立入検査が実施された。理事全員が対応し、

公益目的事業についての評価とともに、運営及び会計に対するコンプライアンスに関する指導を受けた。

- 3月11日（日） □第7回理事会・運営委員会 会場：東京家政大学  
本理事会及び運営委員会の主たる議案は、「役員の推薦及び依頼について」、「定款改定案について」、「内閣府立入検査による指導及び対応方針について」、「細則の改定及び制定について」、「平成30年度第8回定時総会の開催について」などであった。
- 3月 □日本美術教育連合ニュースNo. 152  
「第51回日本美術教育研究発表会2017報告」、「造形・美術教育フォーラム」、「選挙管理委員会報告」の記事を中心とする連合ニュースNo. 152を発行した。
- 3月31日（土） □日本美術教育研究論集2018No. 51発行  
掲載論文37本の論集No. 51を発行し、会員に配送した。（公益目的事業1研究促進事業）
- 4月 7日（土） □会計監査（後期）  
本郷事務所において北澤俊之監事、宮坂元裕監事による会計監査が西村徳行事務局担当理事、結城孝雄理事（事務局長兼任）の立会いの下実施された。
- 平成30年度第1回理事会  
会場：日本美術教育連合本郷事務所  
本理事会の主たる議案は、「平成29年度会計監査報告」、「平成30年度第8回定時総会の議案内容の確定」などであった。
- 5月13日（日） □平成30年度第8回定時総会及び講演会  
会場：聖心女子大学宮代ホール

平成30年5月13日

平成30年度第8回定時総会

平成29年度研究局活動報告（案）

■平成29年度活動計画（平成29年度第7回定時総会にて報告）

- ①研究局は「美術教育に関する研究発表会の開催並びに研究論集の刊行」（定款）を行う。
- ②第51回日本美術教育研究発表会2017を29年10月15日、東京家政大学で開催する。
- ③『日本美術教育研究論集2018\_No.51』を平成30年3月31日刊行、会員に頒布する。
- ④InSEA JAPANのホームページにおける研究局の掲載内容を検討する。

■平成29年度活動報告

- ①研究発表申込集約の際の見落とし防止や煩雑さの改善を検討、従前の「こくち一ず申込+別送概要文」と山田一美研究局運営委員提案「記載内容一括添付メール申込」を協議し前者に決定した。北川智久事務局運営委員の補助を得て「こくち一ず申込」書式の作成、本運営委員会が管理、「別送概要文」受付は新たに立川泰史研究局局員が担当となった。
- ②連合ニュース150号（2017.6）に「第51回日本美術教育研究発表会2017一次案内」、「第51号日本美術教育研究論集2018【投稿および掲載要項】」、「公益社団法人日本美術教育連合入会申込書（学生・一般）」、「第51回日本美術教育研究発表会2017研究発表申込方法」を、151号（2017.9）に最終案内と研究発表時間割を掲載した。
- ③研究発表申込49組63名、前年度35組からの大幅増があり、『研究発表概要集2017』掲載を全体把握の1頁か、発表者数増加を印象づける2頁かを役員会で協議、担当の小林貴史研究局運営委員が作表可能と判断し前者に決定した。概要集編集過程で、発表時間割への転記ミスと発表者自身の記載不備が多数、11訂まで印刷会社の好意で行った。その都度ホームページ掲載の発表時間割を北川智久事務局運営委員が更新、不適切な英題目の標記は藤井康子研究局局員の対応で改善された。次回からは発表申込者一人一人が、ネイティブや準ずる人に確認して申込むよう要望する。概要集は短期間編集なので、訂正をなくすよう研究局運営委員数が国際・事業両局と比して少ない状況の改善を図りたい。
- ④2017年10月15日（日）東京家政大学板橋キャンパス16号館にて、第51回日本

美術教育研究発表会 2017 を開催し、研究発表 49 組 63 名と参加 135 名は本会史上最多、所属は幼小中高特支 19、短大・大 32、博士・修士・学部生 12、美術館・他 3 と多彩であった。畑山未央事務局局員が懇親会の料理等を準備し、史上最多 68 名が楽しく交流し盛会であった。それらの様子を連合ニュース 152 号 (2018. 4) に、多数の写真とキャプションで報告した。

⑤小林貴史研究論集編集委員長提案の編集日程により全役員の審査、研究局での校正を経て、『第 51 号日本美術教育研究論集 2018』を平成 30 年 3 月 31 日に刊行、会員に頒布した。ホームページの研究局コーナーに、前年度の『第 50 号日本美術教育研究論集 2017』所収の「日本美術教育研究発表会第 50 回記念クロニクル」を掲載する準備を行っている。

平成30年5月13日

平成30年度第8回定時総会

### 平成29年度国際局活動報告（案）

#### ■平成29年度活動計画（平成29年度第7回定時総会にて報告）

- ① I n S E A 2 0 1 7 大邱世界大会において、積極的な交流を図るとともに、世界の美術教育動向を報告できるような取材を進める。
- ② I n S E A 2 0 1 7 大邱世界大会の報告をニュースやホームページを通じて行う。
- ③ I n S E A ホームページやデジタルマガジンに掲載する研究論文の推薦を進める。
- ④ I n S E A J A P A N の窓口及び海外向け広報を目的としたホームページの作成を検討する。

#### ■平成29年度活動報告

- ① I n S E A 2 0 1 7 大邱世界大会では、茂木一司国際局運営委員がアジア地区評議員として本部役員会に出席し、これからの国際的視野での芸術教育に関して意見を交換するとともに、アジア地区の他国代表者からはアジア地区大会の在り方についての意見が寄せられた。また、次期 I n S E A 役員として佐藤真帆国際局局員が茂木氏に替わり、アジア地区評議員として着任した。発表に関しては、福本謹一国際局運営委員が招待講演を行うとともに、宮坂元裕前代表理事と大坪圭輔代表理事が招待研究発表を行い、日本語による発表ブースも開設され、日本からの発表件数は40本を超えるものとなった。さらに大坪代表理事は大邱大会実行委員会と意見の交換を行った。最終日には、次期世界大会を2019年にバンクーバーにて開催することが正式に発表された。
- ② 連合ニュース151号において、茂木氏による「I n S E A 2 0 1 7 韓国・大邱大会に参加して-国際的な美術教育の／による交流・連携をどうするか?-」というレポートと提案を掲載した。また、大会前には、大邱世界大会に関する情報を連合ニュースやホームページに掲載した。
- ③ 日本からの I n S E A ホームページやデジタルマガジンに掲載される研究論文が少ないとの指摘は、I n S E A 役員会のみならず、茂木一司国際局運営員や直江俊雄国際局運営員等からあり、サポート体制の必要性などを論議したが実施に至らなかった。
- ④ 独自のホームページの開設は内閣府からの指導もあり、平成28年度より開設することができたが、海外の美術教育関係者に対して日本における窓口となるには、英文表記が必要である。ホームページの構成及びコンテンツが確立した時点で、英訳に取り組むべく検討を続けている。



平成30年5月13日

平成30年度第8回定時総会

平成29年度事業局活動報告（案）

6月4日(日) 事業局主催「造形美術教育力養成講座（第3期第2次）」準備会を東京家政大学にて開催し、日程や講師の調整確認を行った。

8月21日、8月22日の二日間に渡って、造形美術教育力養成講座「海外美術教育ワークショップ」を、公益目的事業3 啓発・普及事業として、聖心女子大学にて行った。（一コマ90分×8回）

尚、講義テーマ等は以下の通り。

\* 8月21日(月)

「アメリカにおける表現と鑑賞の往還からの授業づくり」

講師：小林貴史（東京造形大学 教授）、北澤俊之（東洋大学 准教授）

「フランス公立学校の美術の授業とInSEAヨーロッパの活動について」

講師：藤崎典子（元公立小・中学校 教諭）

「フィンランドにみる21世紀型美術教育の今」

講師：結城孝雄（東京家政大学 教授）、畑山未央（東京家政大学 助教）

「スウェーデン・フィンランド・ロシアの著名美術館教育事情」

講師：山口喜雄（元宇都宮大学 教授）

\* 8月22日(火)

「美術鑑賞教育内外事情 2005ー2015 対話から探求」

講師：奥村高明（聖徳大学 教授）

「マインドピクチャーから批評学習まで：英国の不思議な授業実践」

講師：直江俊雄（筑波大学 教授）

「PISA型学力と図工美術工芸の題材開発」

講師：大坪圭輔（武蔵野美術大学 教授）

「紙工作の教材開発 -フレーベルの基本的な考え方に基づいて-（演習）」

講師：仲瀬律久（聖徳大学 名誉教授）